



いわき市立桶売小学校「学校だより」

おけうり

平成30年12月14日(金) 第34号



<教育目標>

- ☆進んで学ぶ子ども(知)
- ☆健康でたくましい子ども(体)
- ☆みんなで助け合う子ども(徳)

発行者 校長 本名 武

トットちゃんのこと



日本で最も売れた書籍は『窓際のトットちゃん』。昨年5月までの累計販売部数は日本・中国だけでも1800万部ほど。昨年の秋、テレビドラマ化されたので、さらに販売部数は増えたのではないのでしょうか。トットちゃん(黒柳徹子さん)の幼少期を描いた冒頭部分は・・・

トットちゃんは、小学1年生を3ヶ月で退学させられます。

母親は学校から、

「授業にならない。クラス中の迷惑になっている。」

「どうぞ、よその学校にお連れください。」

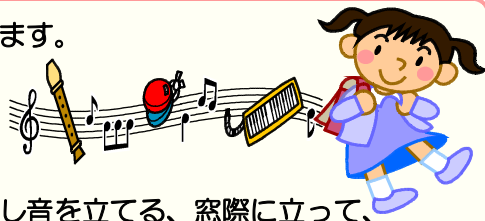
と言われてしまいます。

授業中に、机のふたが気になると、何百回となく開閉し音を立てる、窓際に立って、チンドンヤさんと呼ぶ、戦時中の画一的学校風土にあってはやむなしだったのでしょう。

母親は、トットちゃんに退学のことは伝えませんでした。いろいろな学校を探しまわり、電車の車両が教室である「トモ工学園」を見つけます。

校長先生は「さあ、なんでも話してごらん。話したいこと、全部。」と言うと、トットちゃんはうれしくなり、午前中4時間話し続けます。

話を全部聞き終わった校長先生は「これで君は、この学校の生徒だよ。」と告げます。



トモ工学園は、日本で初めて「リトミック教育」を取り入れた学校です。

リトミックは、音楽を使い、身体表現を通して、心や身体、社会性等も育むことをねらった当時の新教育運動のひとつです。トットちゃんのことやトモ工学園のことが分かって、ドラマ主題歌の福山雅治氏の歌う『トモ工学園』をフルで聞くと感動が迫ってきます。特に2番の歌詞。

♪「♪～私たち ちがうだね 顔のかたち 心のかたち ♪～ねえパパ ねえママ ちょっとまって
♪～この場所なら ♪～もっと いい子に になれる から ♪」

「♪～ちがうって 自由ってこと 大好きって 幸せなこと ほら 自由で 幸せです 私は いま ♪」

黒柳徹子さんは、もしトモ工学園に出会わなかったら、今の自分は存在しないと話します。

「教育は人なり」、目の前の子どもと大人がどう向き合うか、その大切さを教えてくれる1冊です。

～今週も、子どもたちの主体的な姿と笑顔を多く見る事ができました。残るはあと1週間～



<体育専門アドバイザーと>

<3・4年おわらいボウリング>

<2年サンタのプレゼント>

<手洗いチェッカーで実験>



(新) 右下のホームページアドレス、QRコードをご利用ください。

<日々の桶売小の子どもたちの活動・活躍の様子などを写真とともに掲載しています。>



リアルタイム線量測定システムの数値(校庭)

0.090 μ Sv/h 12/14 8:10

(文部科学省HPの放射線モニタリング情報)

<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

桶売小学校 電話0246-84-2230 Fax0246-84-2240

在籍児童数 男6名 女3名 計9名

※ (新) 桶売小HPアドレス
<https://iwaki.fcs.ed.jp/>

※ (新) QRコード → → →

